

# 教会の援助協力

2012 年 1 月号

発行:

日本福音同盟援助協力委員会

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 2-1OCCビル TEL:03-3295-1765 FAX:03-3295-1933

e-mail:adminoffice@jeanet.org http://www.jeanet.org/ 郵便振替:00190-5-7790

## 復興と形成への協力



中台孝雄  
(JEA 震災対策室長/  
援助協力委員長)

昨年 10 月初旬 JEA は理事長・総主事・震災対策室長の連名で以下の手紙を加盟諸教団・団体にお送りしました。(8 月の理事会決定によるものです。)

「東日本大震災からの復興に向けて 一 中略一 東日本大震災発生から半年以上が経ち、支援の働きが緊急援助から復興支援の段階に移っていく中で、新たな教会形成や宣教活動の話題もあがるようになりました。それにつれて、それぞれの地域での今後の支援活動の継続と福音宣教・教会形成について、さらなる連携・協力の必要性が浮かび上がってきています。またそのような必要に応じて各地域において教会ネットワークが立ち上げられています。このような状況の中で、わたしたち日本福音同盟(JEA)は、何よりも被災地域にある主の教会が活かされ、教会を通して被災地のすべての方々にキリストの愛が届けられることを、そしてそれぞれの宣教の計画と活動が、主の栄光と教会の一致につながることを祈ります。そのために各ネットワークや団体の個性・特徴が活かされ、主にある一致をもってキリストの御業が現されていくことを願っています。そのようなうるわしい教会協力の実が結ばれていくために、私たちはお互い JEA に属するものとして奉仕をいたします。それぞれの地域にある各ネットワークや関連団体と連携・協力し、積極的に第五回日本伝道会議のテーマである『危機の時代における宣教協

力』の実現に力を尽くして参りましょう。一後略一

内容的には多少説明不足の面があったかもしれませんが。背景には、3 月の震災以来、救援活動に取り組んで来たキリスト教系の諸団体が、半年あまりを経て、次の長期的取り組みに進もうとする時に皆が一様に感じ始めて来た課題がありました。「私たちはキリスト教団体であるので、当初は被災地の緊急の必要にお応えしていたが、いつかは福音もお届けしたい。でも、いつ、どのようにして、どうやって？ 単独で進めていいのか、協力し合うことができるのか？ キリスト教会の一致と協力はこのような時にどのようにして現すことができるのか？ どのようにしたら被災地の方々に（この機に乗じての宗教の押しつけととられずに）受け入れていただけるのか？」といった課題です。こうした課題に対して、すぐに明確な答えはないにしても、私たち JEA に属するお互いが共に心得て、模索し、努力していきましょう、というのが、手紙の趣旨でした。

この手紙に前後して、各地・各教派・各団体のネットワーク全体の会合が幾つかの形で開かれました。お互いが、自分たちのしていること、しようとしていること、自分たち以外の主にある兄弟姉妹たちがしていること、しようとしていることを知り合った上で、重なっている部分、協力し合える部分、あるいは譲り合うことのできる部分を、皆で考えるようになりました。

この震災への取り組みは、広範囲に渡り、また長い年月がかかることでしょう。キリシタンの時代、明治開国期、第二次大戦後、といった大きな節目となった時代と同様に、百年、二百年といった単位で日本のキリスト教会の責任と未来が問われているように思います。今こそ、福音同盟を立ち上げ、伝道会議を重ねて来た私たちの真価が（あるいは、成果が）、具体的に、待たなしに、問われているのではないのでしょうか。

## 諸団体の活動と協力

品川謙一 (JEA 総主事)

2011年10月9日～17日、WEA(世界福音同盟)大使としてブライアン・スティラー博士夫妻が来日され、世界123カ国の福音同盟、6億5000万人の福音的クリスチャンたちが、東日本大震災からの救援・復興に取り組む日本の諸教会と共にあるとのメッセージを届けてくださいました。3日間で宮城、岩手、福島の前被災地域を視察し、現地の先生方の話を聴き共に祈り合う中で、スティラー先生ご自身が涙を流し、このように大きな痛みと苦しみを経験した東北の地に主の愛が注がれるように、と祈っておられたのが印象的でした。また「日本の教会の数は少なく小さいが、この大災害に直面して自分たちの存在よりも遙かに大きな働きをしている。まるでボクサーがいくつも上の階級の相手に果敢に挑んでいるようだ」と励ましてくださいました。この訪問中のインタビューや映像を含めた報告がWEAのウェブサイトで世界中の教会に向かって発信されています。



＜シーサイドチャペル跡地で祈りを合わせた＞

2011年11月末から12月初めにかけて、JEMA(日本福音宣教師団)主催の宣教団の会合と、DRCネットワーク(東日本大震災救援キリスト者連絡会)・東北ヘルプ共催の教会ネットワーク会議が、仙台で開催されました。JEMAの会合では、諸宣教団の活動と今後の見通し、連携・協力の可能性などが話し合われました。JEMA加盟の宣教団のうち三分の二が被災地での救援活動に関わっており、その約半分に新たな教会開拓の計画があるということでした。また殆どの団体が、すでに日本の教会や支援団体と協力しながら働きを進めていることがわかりました。

DRCネットワーク・東北ヘルプ共催の教会ネットワーク会議では、10のネットワーク・団体から現在の課題について報告がありました。日程の関係で岩手からの参加がなかったのが残念でしたが、宮城、福

島については、共通の課題と共に大きな違いがあることもわかりました。宮城県では救援から復興・宣教へとステージが移りつつあります。しかし福島県の場合、原発事故による放射能の問題は現在進行形であり、子供たちの疎開など福島県の教会だけでは解決できない課題が多くありました。



＜仙台での教会ネットワーク会議＞

これらの会合を受けて、各団体の活動地域の情報の共有のため、JEMA、DRCネットワーク、JEA、東北ヘルプなどが協力してデータをリンクする作業が始められています。また今回の震災救援活動の中から生まれた様々な宣教の視点について、現地の先生方の発題を聴き、今後の宣教のあり方を考えていくために、2012年2月6日にJEA宣教委員会主催(JEA東日本大震災対策室共催)の宣教シンポジウムを東京で開催する予定です。引き続きJEA東日本大震災対策室と関連する働きのためにお祈りください。

## 小さな教団の救援活動

大井満 (JEA 宣教委員会担当理事)

先日行われた「宣教フォーラム 秋田」において東日本大震災への教派としての取り組みを報告しました。日本キリスト合同教会は7教会で構成され、今回の被災地には教会はありません。

地震直後にまず取り組んだのは、石巻に住む無任所教師の安否確認でした。港の近くに住み、障害を持つこの教師が無事に津波の被害から逃げられたかどうか、祈りつつ安否確認をし、幸い無事に避難していることがわかりました。この働きのためには、アメリカのある個人から私たち夫婦に届けられた1,000ドルが役に立ちました。プリペイド式の携帯電話を買い、避難所へ郵送することで連絡が取りやすくなりました。後述の視察の際にこの教師が住んでいた家を訪ねましたが、よく助かったものだと思います。

ました。

この作業と平行して、半ば強いられるようにして、震災への取り組みが始まることになりました。それは航空便で毎日のように、私が牧会する教会に届けられた在インドネシア韓国人教会からの支援物資をどのように活用するかということでした。被災地に教会がない私たちは、物資の受け入れ先を知りません。幸い、いち早く活動をはじめた CRASH JAPAN の仙台ベースがこの物資を受け取って下さいました。

続いて海外の関係教会から献金を送りたいという連絡が入り始めました。教派として協力関係にあるアメリカの The Evangelical Church、各個教会レベルで姉妹教会関係を結んでいる韓国の教会、個人的な関係のある台湾の教会などから、続々と献金が献げられました。この時点で教派として「東日本大震災支援チーム」の立ち上げを決断し、代表と事務局長、そして私がその責任を負うことになりました。各教会への献金や物資も、支援チームが一括して管理することが確認されました。

これらの献金を用いて、4月に被災地の視察を行い、5月から9月まで毎月1チームのボランティアを CRASH JAPAN を通して派遣しました。8月に二度目の視察を行い、以後現在に至るまで、毎月1チームずつのボランティアを、3.11 いわて教会ネットワークとの関係で、単立宮古コミュニティ・チャーチへ派遣しています。この働きは少なくとも来年の秋まで続けたいと願っています。教団内で献げられた献金は基本的に JEA にお届けし、海外からの献金で直接支援をするという枠組みが、いつまで続けられるのかわかりません。しかし神さまが小さな教団に託された使命を、これからも忠実に果たしていきたいと願っています。



<動かなくなった自動車を力を合わせて>

## 援助協力委員会のその他の取り組み

中台孝雄（援助協力委員長）

昨年は東日本大震災以外にも幾つかの災害が国内外で生じ、援助協力委員会として対応しました。

**I. 2月22日** ニュージーランドのクライストチャーチで起きた地震で市街地の建物が倒壊し、日本人も被害に遭いました。秋に中澤啓介先生に託して日本人教会（JCF）にお見舞金をお届けしました。

同教会の渋沢憲一牧師からのお礼状です。I

「日本においても多くの必要に迫られる中、私たちのことも覚えていただいていることだけで、身に余る思いがいたします。—中略— 私たちが本来主日礼拝に使用していた礼拝堂の修復工事費用の一部として用いさせていただきます。—中略— 全てを益としてくださる神様が、この変化を通して新たなるみわざを成し遂げてくださいますよう、お祈りに覚えてくださると感謝でございます。」

**II. 9月** に和歌山県を中心として生じた台風水害によりキリスト教会にも被害が生じました。被害の大きかった日本バプテスト教会連合の諸教会にお見舞金をお届けしました。

**III. 10月2日（日）** 東京フリー・メソジスト教団小金井教会の協力牧師・芳賀正先生が召されました。芳賀先生は JEA 再編以来一貫して、この援助協力委員会の支柱として中心的な役割を担い続けてくださいました。ご家族に主のお慰めがありますように。

**IV. 11月** になり、タイ全土に水害が生じました。訪タイなされた中澤啓介先生に託して、タイ福音同盟にお見舞金をお届けしました。同同盟よりお礼状をいただいています。

**V. 前述の中澤啓介先生（日本バプテスト教会連合大野教会協力牧師、元 JEA 理事・神学委員長）が東日本大震災の被災地、タイ、ニュージーランドと精力的に動いてくださいましたので、援助協力委員会の特命大使としてのご奉仕をお願いし、喜んで引き受けてくださいました。感謝します。**

収入	科目	金額	支出	科目	金額
		東日本大震災義援金		6,943,420	
	世界の自然災害への救援金(常設)	900,692		振替手数料/繰入金	1,012,042
	援助協力基金(常設)・雑収入	856,440		災害時諸経費/事務所費/通信費	1,560,760
	ハイチ地震(終了)	1,320,981		支出合計	8,949,338
	HIVエイズ(終了)	113,524			
	アジア・太平洋地域への義援金(終了)	126,102		合 収入合計	18,617,295
	前年度繰越金	8,356,136		支出合計	8,949,338
	収入合計	18,617,295		計 次年度繰越金	9,667,957

《献金者リスト》 (敬称略・順不同) 2010年4月1日～2011年3月31日

●援助協力基金(常設)

日本アールビーシーミニストリーズ、日本聖約キリスト教団、綾瀬教会、新井聖書教会、嵐山チャペル、印南バプテスト・キリスト教会、インマヌエル大湊教会、岡南教会、尾久キリスト教会、清瀬バプテスト教会、グレースコミュニティ(手稲福音キリスト教会)、小金井教会、玉川上水キリスト教会、都賀キリスト教会、長津田キリスト教会、めぐみの丘チャペル

●アジア太平洋地域義援金

印南バプテスト教会

●ハイチ地震義援金

日本神の教会連盟、日本同盟基督教団、麻布霞町教会、麻溝台キリスト教会、あすなろ福音キリスト教会、尼崎キリスト教会、阿南教会、綾瀬教会、石岡キリスト教会、糸魚川キリスト教会、糸魚川キリスト教会個人(7名様)、インマヌエル新浜キリスト教会、インマヌエル北本キリスト教会、インマヌエル長岡キリスト教会・ベタニア会、インマヌエル船橋キリスト教会、上野芝キリスト教会、宇治バプテスト・キリスト教会、大川キリスト教会、大阪伝法教会、大原教会、大宮教会、岡山カペナント・チャペル、柏崎キリスト教会、川崎ホーリネス教会、京都聖徒教会、桑名キリスト教会、腰越独立教会、佐倉王子台チャペル、シオン蒲田教会、自治医大前キリスト教会、忍ヶ丘キリスト教会、下山口キリスト教会、白根福音教会、聖書キリスト教会東京教会、高槻福音自由教会、調布南教会、つがる福音キリスト教会、東洋ローア・キリスト伝道教会、ときがわ教会、中野島キリスト教会、西船橋キリスト教会、西宮教会、日進キリスト教会、橋本キリスト教会、東名古屋キリスト教会、古河教会、星の子キリスト福音教会、枚方コミュニティチャペル、美唄福音キリスト教会、守谷バプテスト教会、湯本キリスト福音教会、若潮教会

●東日本大震災義援献金

イエス福音教団、日本バプテスト宣教団、日本フリーメソジスト教団、近畿福音放送伝道協力会、芦屋川教会、伊勢崎キリスト教会、市原福音キリスト教会、今市キリスト教会、宇都宮インターナショナルクリスチャンスクール、大磯キリスト教会、大胡キリスト教会、大月福音キリスト教会、オランダ中部キリスト教会、岸和田聖書教会、希望キリスト教会、小金井教会、腰越独立教会、札幌希望の丘教会、シオン蒲田教会、静岡その枝キリスト教会、白根福音教会、新所原教会、水海道シャローム教会、立川駅前キリスト教会、田辺聖書教会、丹波柏原教会、東京中央教会、長津田キリスト教会、流れのほとり集会、西成めぐみ教会、西船橋キリスト教会、東浦和教会、平塚福音キリスト教会、富士宮キリスト教会、ブラジルニックエイ、水戸教会、南大沢チャペル、洛陽バプテスト教会、横浜キリスト福音教会、やすらぎのバイブルスクール、F E B C-韓国、毎日コムネット中島、池田麻里、和泉美和子、岡本保弘、小野寺まりな、川口達也・望、倉持和子、サカイカズトミ、武隈恵里左、土岐正喜、服部良三、花菌征夫、浜崎園子、三浦寿夫、三井悦子、村松民子、山本朗、山本道代

●世界の自然災害への救援金(常設)

嵐山チャペル、宝塚泉キリスト教会、六日町キリスト教会

◆チリ地震

聖書考古学資料館研修旅行団、日本同盟基督教団、尼崎キリスト教会、石岡キリスト教会、糸魚川キリスト教会、イムマヌエル神戸教会、インマヌエル富山教会、インマヌエル磐田キリスト教会、柏崎キリスト教会、川崎ホーリネス教会、札幌希望の丘教会、シオン蒲田教会、忍ヶ丘キリスト教会、調布南教会、所沢聖書教会、日進キリスト教会、沼津シオン・キリスト教会、西船橋キリスト教会

◆中国青海省地震

尼崎キリスト教会、泉キリスト教会、糸魚川キリスト教会、神栖めぐみキリスト教会・教会学校、川崎キリスト教会、調布南教会、所沢聖書教会、日進キリスト教会、那珂湊キリスト教会

◆パキスタン洪水

春日井福音自由教会、神栖めぐみキリスト教会、京都めぐみ教会

◆ハイチ地震

シオン蒲田教会

\*東日本大震災のための支援献金は以下の口座にお振り込みくださいますようお願いいたします。

●郵便振替: 00190-5-7790

加入者名: (JEA) 日本福音同盟援助協力委員会

※通信欄に「東日本大震災支援金献金」と明記してください。

●三菱東京UFJ銀行: 神保町支店

加入者名: JEA 日本福音同盟援助協力委員会 委員長 中臺孝雄 013-0305243

※三菱東京UFJ銀行へ振り込まれる場合は、メールかFAXでお名前、住所、連絡先をお知らせください。